

紀北分院外来診療医担当表

		月		火		水		木		金	
		AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
総合診療	2診		総合診療 廣西	呼吸器 中西	総合診療(循環器) 羽野	総合診療 廣西		血液・呼吸器・感染・総合診療 田村		総合診療(循環器) 羽野	
	3診	糖尿外来 河井		糖尿外来 河井		泌尿器外来 倉本 (第2・4週)	肝臓 佐藤 ※再診のみ	リウマチ・膠原病		消化器 川口	
	4診		皮膚科 神人 (第1・3・5週) 田端 (第2・4週)	脳神経内科 梶本		脳神経内科 梶本		循環器 中井	皮膚科 宮崎 (第1・3・5週) 野田 (第2週) 田村 (第4週)	認知症センター 梶本	
	新患5診	青木		川口		応援医師		野田		田中	
	外科診								櫻井 【第3週を除く】		
脊椎ケアセンター	6診				上野 【第1週】						
	7診	整形外科 前田		整形外科 中川	足の専門外来 浅井 (奇数週)	整形外科 太地		整形外科 佐々木		整形外科 中川	
	8診	整形外科 南野		整形外科 佐々木		整形外科 南野		整形外科 太地		整形外科 前田	
眼科	1診	中田	岡田	安田 岩西 西 (第1週) (第2週) (第3週) 榎野 鈴木 (第4週)	中田	子ども外来 石川	小門	山本	岡田	術前外来	
	2診		黄斑外来 小門	山本			中田		小門		
小児科		青柳	樋口		青柳		青柳		青柳		
リハビリテーション科		岡本	岡本		天ヶ瀬		天ヶ瀬		天ヶ瀬		
		天ヶ瀬	天ヶ瀬								

診察受付 月曜日～金曜日：8時45分～ 再診で予約のある方は指定時間（予約表の記載時間）

*当院は原則すべての診療科で予約制となりますので、来院前に予約センターへ電話での予約をお願いします。

紀北分院 予約センター（受付時間 8時45分～15時）

TEL 0736-22-4600

紀北分院 認知症疾患医療センター 診療予約・介護相談（受付時間 9時～17時）

TEL 0736-26-3004

最新の情報は紀北分院ホームページにも記載しています。



2025年1月1日現在



あじさい

vol.49
2024



健康のつどい

9月7日に、かつらぎ町のあじさいホールで「紀北健康のつどい」を開催しました。2部構成で1部は橋本医療圏の地域包括支援センターと社会福祉協議会、当院認知症疾患医療センターが企画したものです。さわやか福祉財団の高林稔先生をお迎えして、運転免許返納後の生活を自分事として考えていくという内容でした。誰もが運転免許返納をしなければならない日が来ます。公共交通機関が少ないこの地域でどのように準備していくか考える内容でした。

2部は、紀北分院の医療チームなどが、健康や介護について学び気軽に相談できるという内容で、各ブース趣向をこらしてお迎えしました。例えば、認知症予防に関するブースでは、歌を歌いながら手を叩くという二重課題を行いました。和気あいあいとした雰囲気の中で、来てくださった方々もスタッフも笑顔あふれるひと時でした。

「かるて師匠の健康高座」

可流亭：紀子ちゃん、携帯で何を調べているの？

紀子：手が痺れるってお母さんが言うものだから、なぜ手が痺れるのか調べようと思って。お母さんは脳卒中を心配してたけど、手首で神経が圧迫されたり、首の骨が変形して起こることもあるんですね。

可流亭：そうそう、昔は「家庭の医学」とか調べる本があったけど、今は携帯やパソコンで簡単に調べられるようになったね。

紀子：先生たちは医学部でいっぱい勉強しなくちゃいけなかったんだろうけど、ネットで調べられるんだったら先生たちの仕事がなくなっちゃうね。

可流亭：確かに簡単な病気だったら、医師に相談しなくてもいいのことはわかることもあるね。

紀子：そのうち病気の診断や治療がわかる携帯やパソコンのアプリなんかもできてくるんでしょうね。

可流亭：いや、すでにそういうプログラムが開発されているよ。

紀子：えっ、すごい。じゃあ先生たち失業しちゃうわね。

可流亭：僕たちが失業しちゃうほど高度なアプリはさすがにないけど、人工知能（AI）の進歩はすさまじいから、そのうちすごいのが開発されてくると思うな。心臓の病気を疑ったときは心電図という検査をするけれど、心電図の診断については、循環器内科医が読影するよりも、機械に任せた方が正確な診断が出るという研究結果もあるほどだからね。

紀子：コンピューターとか人工知能（AI）が苦手なことは何ですか？

可流亭：人工知能には感情はないので、人間のような複雑な選択をすることはまだ難しいよね。治療のなかで考えないといけない個人の価値とかは機械に判断させるのは無理だろうし、医学を進歩させていくための創造性も期待できないかな。患者さんそれぞれに合わせる柔軟性みたいなものもないから、そのへんは人間である医療者が考える必要がありますね。それでも人工知能は人間よりも情報を集める能力は高いから、誤診や記憶違いなんかは減らせると思います。要は上手に人工知能を利用することですね。

内科教授 廣西昌也



【お知らせ】

・紀北分院広報誌「あじさい」は春夏秋冬の年4回発行します。

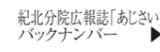
和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院
分院長 岡田 由香

〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺219

TEL/0736-22-0066 (代) FAX/0736-22-2579



紀北分院 ホームページ



紀北分院広報誌「あじさい」バックナンバー

ホームページURL▶http://www.wakayama-med.ac.jp/med/bun-in/index.html



2024年12月発行

■ 訪問診療のご案内

医師が定期的なスケジュールのもと、ご自宅にお伺いし診察・薬の処方・健康管理等を行います。退院直後で不安な方や通院が困難な方が、ご自宅で安心して過ごせるようお手伝いします。

～対象となる方～

- 通院が困難な方
- ご自宅での療養を希望される方
- 病院から退院した後のケアが必要な方
- 難病・重度の障害がある方
- 医療処置が必要な方



～訪問日・時間～

平日（土日祝、年末年始除く）

患者さんの病状により月1～2回、定期的な訪問を計画します。

TEL：0736-22-8250（地域医療連携室直通）

受付時間：8：45～17：00（平日 月曜～金曜）

【掲載内容】

- 健康のつどい
- 訪問診療のご案内
- 世界骨粗鬆症デーin紀北分院
- 世界糖尿病デーin紀北分院
- 職業体験
- ナース章受章
- 第28回関西MIST研究会 優秀演題賞受賞
- 着任のご挨拶
- 新任ドクターの紹介
- 外来診療医担当表
- かるて師匠の健康高座



■ 世界骨粗鬆症デー in 紀北分院

毎年10月20日は世界骨粗鬆症デーとして、骨粗鬆症に対する理解を深め、予防と治療の重要性を広めるキャンペーンが世界中で行われます。

当院でも10月23日に地域住民の皆様に向けてイベントを開催しました。骨粗鬆症リエゾンサービス委員会を中心となって、踵骨の超音波骨密度測定、理学療法士や栄養士、医師による講演を通じて、骨粗鬆症の予防・治療法について紹介しました。検査の結果、低骨密度の方もいらっしゃり、希望者には追加検査のため整形外科の予約を取らせていただきました。骨粗鬆症自体には症状がないですが、転倒などちょっとした外傷により背骨や大腿骨が骨折し、寝たきりの大きな原因となります。骨折予防のために、骨粗鬆症の早期診断と適切な治療が重要です。



■ 世界糖尿病デー in 紀北分院

紀北分院では、11月14日の世界糖尿病デーに合わせて、「世界糖尿病デーin紀北分院」を11月13日に開催しました。このイベントでは、地域の皆様に糖尿病について正しく理解してもらい、予防や治療継続の重要性について知る機会となることを目的としています。

当日はご多忙の中、約35名の方にご参加いただきました。食事や薬、合併症、フットケアなど、療養生活での困り事や悩みなどがあれば、いつでも主治医や看護師にご相談ください。



■ 職業体験

かつらぎ町立笠田中学校、かつらぎ町立妙寺中学校の皆さんが10月に当院で職業体験をしました。学生さんからは、「とても優しく患者さんと接していたところが印象に残っています。」「貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。」等の感想をいただきました。



■ 令和6年度和歌山県ナース章の受章

当院の松岡淑子看護部長が、令和6年度和歌山ナース章を受章しました。

この表彰は、長年にわたり保健師・助産師・看護師・准看護師として勤務し、顕著な業績をあげた者に知事が授章を行い、その功績をたたえることを目的としたものです。



■ 第28回 関西MIST研究会 優秀演題賞の受賞

当院の京極恵理子看護師が、第28回関西MIST【ミスト；最小侵襲脊椎安定術】研究会で「看護師が行っている手術準備」について発表し、優秀演題賞を受賞しました。



■ 着任のご挨拶



内科
准教授／田村 志宣
診察日：木

令和6年10月より紀北分院・内科総合診療科に赴任致しました田村志宣（たむららのぶ）と申します。

私は、平成11年に和歌山医大を卒業し、すぐに神経解剖教室（仙波恵美子教授師事）の大学院に進学しました。その頃、眼科・岡田由香分院長、内科・廣西昌也教授と同じ教室で共に研究に勤しんだことを懐かしく思い出します。6年間の基礎研究を終え、平成17年から和歌山医大・第一内科に入局し、平成18年7月から和歌山県田辺市にある紀南病院で総合内科医として診療を開始しました。紀南病院では、様々な内科疾患を診療しましたが、主に呼吸器疾患を専門としておりました。紀南地区は、血液内科医の空白地域であり、当時から大きな問題となっていました。紀南地域の血液医療の均てん化のために、平成20年10月から半年間、国立がんセンター中央病院・血液内科で研鑽しました。半年間の研修ののち、紀南病院に戻り、呼吸器疾患、血液疾患の二刀流で診療し、地域医療に貢献しました。

平成28年7月より和歌山医大・血液内科の准教授として赴任し、和歌山県の血液医療体制の底上げ、若手医師の育成に努めました。さらに、血液内科所属中に、新型コロナウイルスのパンデミックを経験し、令和2年4月より本院コロナ診療チームのリーダーとして紀北分院のコロナ診療に従事しました。当時は紀北分院のスタッフの方々には大変お世話になりました。令和3年10月より救急科に異動し、高度治療室High Care Unit (HCU) および救急一般病棟での総合的な診療を継続しました。複雑な背景かつ多併存疾患を有する患者さんを数多く診療しました。

今回、さらに裾野の広い総合診療を学ぶため、ここ紀北分院・内科総合診療科に赴任することになりました。地域医療で学んだ多くの臨床経験（血液疾患・呼吸器疾患・感染症・救急疾患など）を、この紀北の地域住民の方々に少しでも活かせることができればと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

■ 新任ドクター紹介



内科
あおき ようへい
学内助教／青木 陽平
診察日：月



内科
なかい まい
学内助教／中井 真衣
診察日：木

よろしく
お願いします。